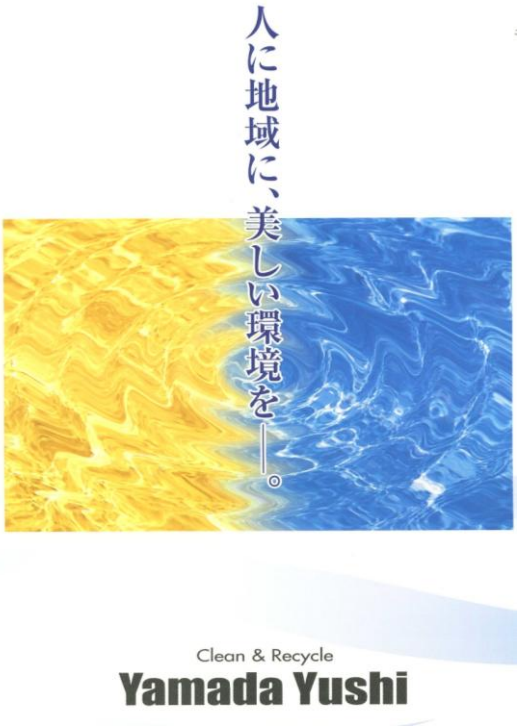
エコアクション21
認証番号0011196

有限会社ヤマダ油脂

2024　年度　環境経営レポート

（対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日）



作成日：　2024年12月20日

目　　次

項　　目	ページ
事業・製品の紹介	1
取組対象組織・活動	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
許可の内容	4
廃棄物処理フロー	5
環境経営方針	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

本社・本社工場

□取組対象組織・活動

更新日： 2023年10月1日

（１） 名称及び代表者名
有限会社ヤマダ油脂
代表取締役　　山田　　博次

（２） 所在地
本社・本社工場　　滋賀県犬上郡豊郷町大字四十九院617番地1
第 2 工 場　　滋賀県犬上郡豊郷町大字八町1602番地

（３） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　営業部長　　諸角　朗　　TEL：０７４９-３５-３５２７
担当者　　営業部長　　諸角　朗　　FAX：０７４９-３５-３５４７
MAIL：morozumi@yamadayushi.jp

（４） 事業内容
廃食用油の回収及びリサイクル業、食品リサイクル業、再生油脂の販売業、リサイクル製品の販売業
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業

（５） 事業の規模
法人設立　　昭和55年4月
資本金　　1,000　万円
売上高　　84,159　万円（2023/10/1～2024/9/30）

	本社・本社工場	第　2　工　　場		
		工場事務所	工場	工場駐車場
従業員	28 名	0 名	2 名	-
延べ床面積	1111.49 ㎡	86.76 ㎡	789.07 ㎡	462 ㎡

保有車輌

車種	台数	備　　考
10ｔタンクローリー車	1 台	廃食油回収
7ｔタンクローリー車	1 台	廃食油回収
4ｔタンクローリー車	4 台	廃食油回収
6ｔトラック	1 台	廃食油回収、産業廃棄物収集
4ｔトラック	1 台	廃食油回収、産業廃棄物収集
3ｔトラック	1 台	廃食油回収、資源ごみ収集
2ｔトラック	2 台	廃食油回収、資源ごみ収集
3ｔアルミバン	4 台	廃食油回収
2ｔアルミバン	2 台	廃食油回収
4ｔパッカー車	1 台	一般廃棄物収集
2ｔパッカー車	1 台	一般廃棄物収集
4ｔコンテナ車	1 台	資源ごみ収集
普通乗用車	4 台	営業車
軽自動車	2 台	廃食油回収、一般廃棄物収集
合計	25 台	

主要設備

名称	台数	備考
製品タンク（30KL）	3 基	本社工場
原料タンク（20KL）	2 基	本社工場
製品タンク兼オリ抜きタンク	6 基	第2工場（最大貯蔵量99ｔ）

６）受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量

（ｉ）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
廃食用油脂（産業廃棄物）	t	2,029
汚泥	t	84
動植物性残さ	t	36
廃食用油脂（有価物）		6,090
動植物性残さ（有価物）	t	137
合計	t	8,376

（ⅱ）中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理（B）		廃食用油脂(産業廃棄物)	固液ろ過・加熱精製	t	2,029
		汚泥		t	
		動植物性残さ(有価物)		t	137
		廃食用油脂(有価物)		t	5,404
		小計		t	7,570
	うち再資源化等	廃食用油脂		t	7,390
		汚泥		t	
		動植物性残さ		t	137
		小計		t	7,527
合計				t	7,570

（ⅲ）最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
		t	
合計		t	0

（ⅳ）中間処理後の産業廃棄物

中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
		廃食用油脂	焼却	t	43
	再資源化	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
				t	
		小計		t	
合計				t	43

６）－２　　一般廃棄物

（ｉ）収集運搬　　単位：ｔ

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ	t	56
	資源ごみ		9
合計			65
家庭系	可燃ごみ	t	280
	資源ごみ（カ		12
	資源ごみ（ビ		32
合計			324

７）認証・登録の対象組織・活動

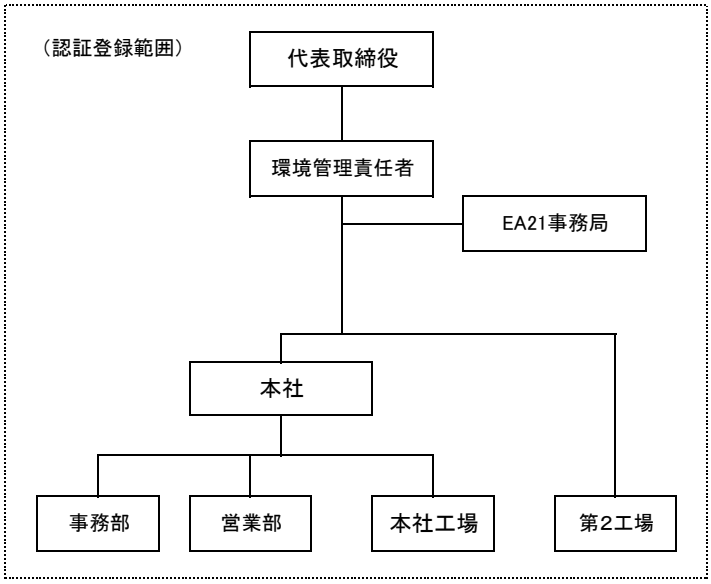
登録組織名：　有限会社ヤマダ油脂

対象事業所：　本社・本社工場、第2工場

活動：　廃食用油の回収及びリサイクル業、食品リサイクル業、再生油脂の販売業、リサイクル製品の販売業、産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2023年10月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し・指示
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
各部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備　　考
豊郷町	なし	令和6年2月2日	令和8年3月31日	
長浜市	広行指令第30号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

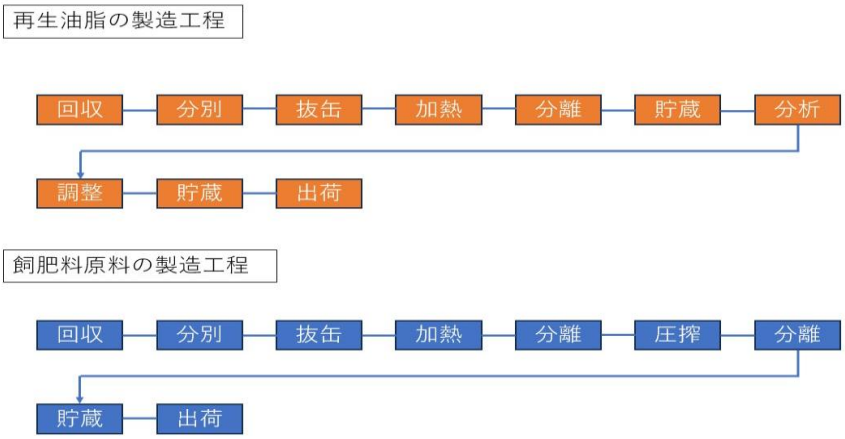
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
滋賀県	第02500108538号	平成31年3月6日	令和11年2月26日	無		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
京都府	第02600108538号	令和6年7月12日	令和11年5月24日	無		○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	
大阪府	第02700108538号	令和6年4月9日	令和11年4月8日	無		○								○			○	○	
奈良県	第02900108538号	令和6年7月23日	令和11年7月22日	無		○								○			○	○	
三重県	第02400108538号	令和6年5月22日	令和11年3月3日	無								○		○	○	○	○	○	
福井県	第1807108538号	令和5年2月15日	令和10年12月21日	無		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
石川県	第01703108538号	令和5年12月21日	令和11年1月8日	無		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
富山県	第01606108538号	令和6年7月25日	令和11年7月14日	無		○	○					○		○			○	○	
愛知県	第02300108538号	令和4年12月8日	令和9年10月31日	無		○								○			○	○	
岐阜県	第02100108538号	令和4年7月7日	令和9年7月6日	無		○								○			○	○	

産業廃棄物処分許可の内容

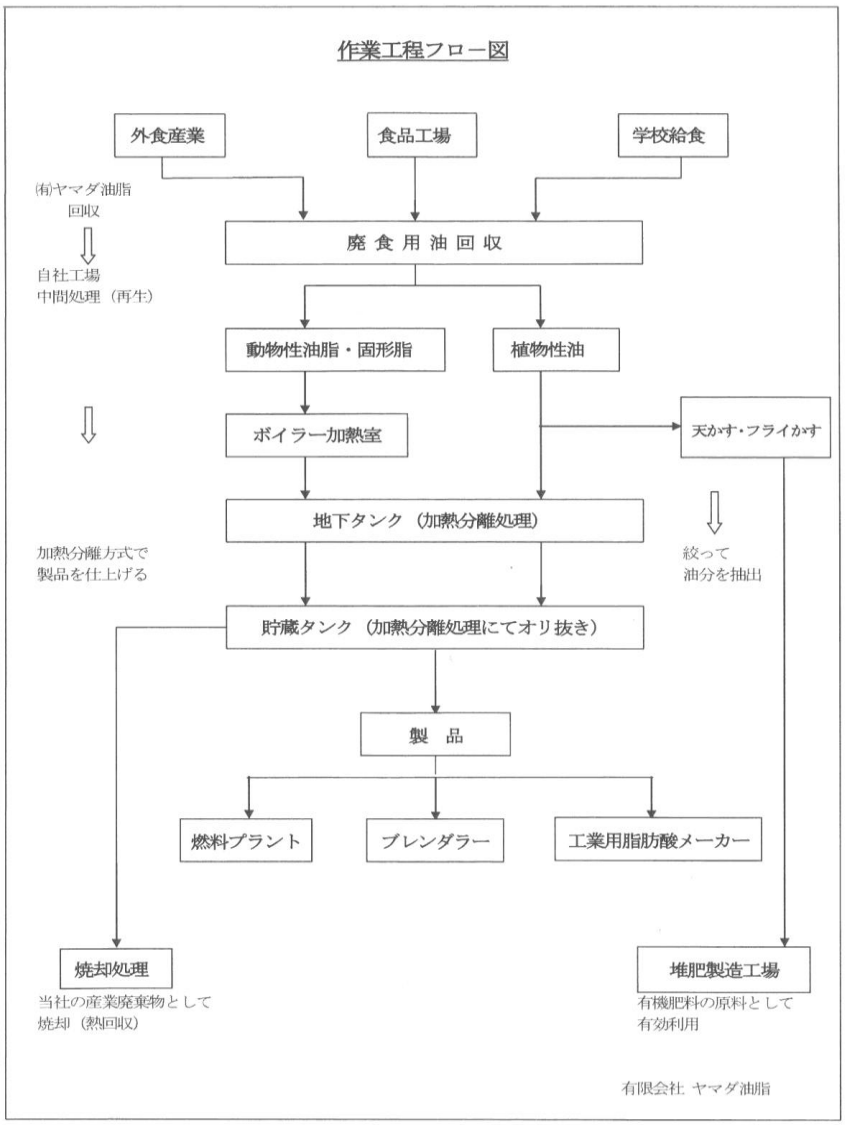
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類
滋賀県	第02520108538号	令和3年11月12日	令和8年10月4日	中間処理	廃油（タールピッチを除く、廃食油に限る）
		産業廃棄物処分許可内容：中間処理　処分方法：加熱精製・加熱圧搾・固液ろ過 （中間処理フロー図参照） 種類：廃油（タールピッチ類を除く、廃食用油に限る）・汚泥（有機汚泥に限る）・動植物性残さ 処理能力：【本社工場】廃油40㎥／日・汚泥・動植物性残さ48㎥／日【第2工場】 廃油9.7㎥／日 施設設置場所：本社工場　滋賀県犬上郡豊郷町大字四十九院字牛尾堂617番1、648番1 第2工場　滋賀県犬上郡豊郷町大字八町字油田1602、1609、1610番地			

□廃棄物処理フロー

本社工場処理フロー



第2工場処理フロー



油脂会社へ販売した再生油は、工業用脂肪酸原料として石鹸、塗料などに使われます。
特に工業用脂肪酸原料として出荷された再生油は手肌に使える高品質な化粧石鹸に生まれ変わり、
廃食油発生元で石鹸として再利用するという循環型社会を構築するリサイクルシステムの提案をしております。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

滋賀で育った我々は、この豊かな自然と美しい琵琶湖を守ることが使命であると思い、企業のあらゆる活動面で、自主的・積極的に、環境への取組みを推進します。この豊かな自然と美しい琵琶湖を後世へと残し、より良い環境を目指し日々努力します。当社は廃食油リサイクルに携わる事業者として、下記の行動を継続的に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法令規制等の遵守

環境関連法規制等及び当社が約束した環境活動を遵守します。

２．当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。

１）二酸化炭素排出量削減の推進

電力消費量や車両の化石燃料の使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。

２）廃棄物のリサイクル推進により、自社廃棄物を削減します。

事業活動に伴う一般廃棄物及び産業廃棄物の分別を行いリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。

３）水使用量削減の推進

事業場で使用する水の節水に努め、水の使用量の削減に努めます。

４）製品またはサービスの環境配慮の推進

事業活動に伴う、リサイクル製品の積極的な販売を推進します。

５）地域の環境活動に参加

会社周辺の美化運動、地域清掃活動に参加し、社会貢献を推進します。

制定日： 2015年8月1日

改定日： 2019年10月1日

代表取締役　山田　博次

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	513,374	468,698	535,949
二酸化炭素総排出量/百万円	kg-$CO_{2/百万円}$	481.1	383.2	637.3
受託収集運搬量	トン	832	957	799
受託中間処理量	トン	832	957	799
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物再資源化率	%	100%	100%	100%
水使用量	㎥	824	917	1,356

＊二酸化炭素排出係数は、関西電力の2021年度調整後排出係数　0.351kg-CO2　を2023年から2025年の3ケ年間固定します。

＊化学物質の取扱いは無いので目標に掲げません。

□環境経営目標及びその実績

評価：○達成　△目標110%以内　×未達

項　目 ＼ 年　度		基準値 (2022年)	2024年 (目標)	2024年 (実績)	評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	使用量	77,895	77,116	101,841	×	76,337	75,558
	kg-CO2	27,341	27,068	35,746		26,794	26,521
	基準年度比	100%	99%	130.7%		98%	97%
原単位評価	kg-CO2/千円	0.026	0.025	0.029	×	0.025	0.025
ガソリン使用量削減	使用量	8,688	8,514	7,581	○	8,427	8,340
	kg-CO2	20,156	19,753	17,588		19,551	19,350
	基準年度比	100%	98%	87.3%		97%	96%
軽油使用量削減	使用量	146,986	144,047	132,038	○	142,577	141,107
	kg-CO2	379,225	371,640	340,658		367,848	364,056
	基準年度比	100%	98%	89.8%		97%	96%
A重油使用量削減	使用量	21,264	20,839	33,967	×	20,626	20,413
	kg-CO2	57,625	56,473	92,051		55,897	55,320
	基準年度比	100%	98%	159.7%		97%	96%
灯油使用量削減	使用量	1,450	1,421	1,405	○	1,407	1,392
	kg-CO3	3,611	3,539	3,498		3,502	3,466
	基準年度比	100%	98%	96.9%		97%	96%
LPG使用量削減	使用量	6,997	6,927	15,469	×	6,857	6,787
	kg-CO4	20,990	20,780	46,408		20,570	20,360
	基準年度比	100%	99%	221%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	508,948	499,252	535,949	△	494,163	489,073
	基準年度比	100%	98%	105.3%		98%	97%
二酸化炭素排出量/百万円原単位	kg-CO2／百万円	477.0	467	637.3	×	467	462.7
	基準年度比	100%	98%	133.6%		98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	3,302	3,236	4,355	×	3,203	3,170
	基準年度比	100%	98%	131.9%		97%	96%
産業廃棄物の再資源化率	%	―	―	100%	○	―	―
	基準年度比	100%	100%	99.99%		100%	100%
水道水の削減	㎥	917	908	1,356	×	899	889
	基準年度比	100%	99%	147.9%		98%	97%
リサイクル製品の積極的な販売	円	1,328,110	1,381,234	1,089,308	×	1,394,516	1,464,108
	基準年度比	100%	104%	82.0%		105%	106%
地域の美化活動に参加する	行動目標（次項による）						

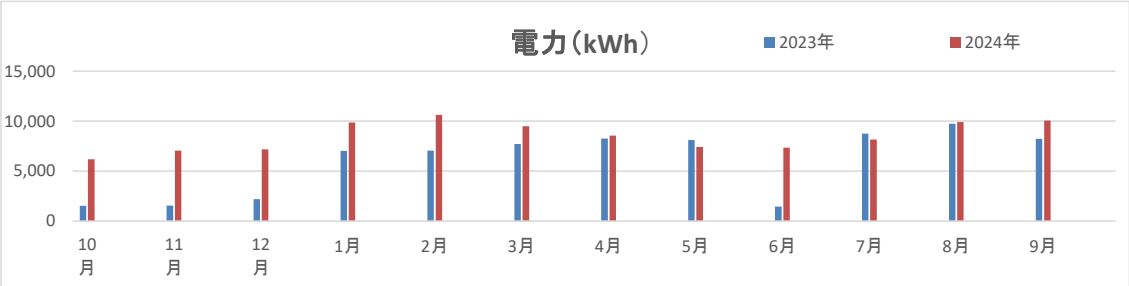
＊電力、LPG,水使用量の基準年は、2023年に変更しています。

＊化学物質の取り扱いはない

□環境経営計画の取組結果とその評価

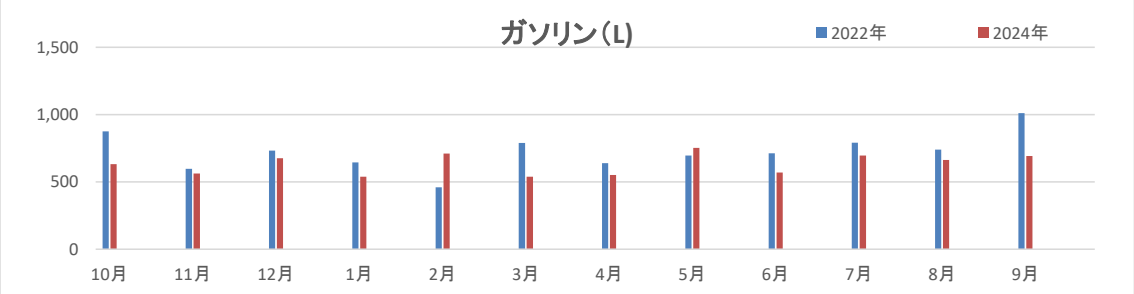
数値目標：○達成　△目標105%以内　×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本社工場、本社事務所とも移転前よりも使用電力の大きい設備が多く、事務所、工場共に節電意識を高く持つことが重要と感じた。次年度は、基準年度を変更し、事務所ではOA機器、エアコンの稼働時間の管理、工場は作業時間の管理を徹底して使用電力の削減、省エネを進めていく。
・不要時の消灯	○	
・OA機器などのスイッチオフ	○	
・エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）、点検	△	
・作業時間(稼働時間)を守る	△	
・不要時は停止する	○	



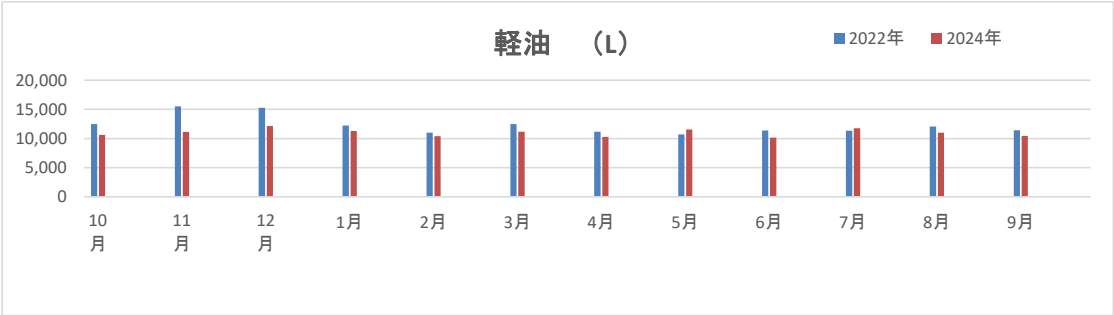
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2023年	1,524	1,559	2,204	7,038	7,048	7,713	8,261	8,110	1,458	8,742	9,732	8,225	71,614
2024年	6,199	7,041	7,166	9,859	10,631	9,496	8,558	7,432	7,336	8,161	9,914	10,048	101,841

ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ガソリン車は営業車と軽トラックしかないので全体量としては少ないが、概ね取組みも実行できて、目標を達成できていると判断する。次年度もこのまま取組みを継続していく。
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	○	
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・回収ルートを効率よく見直す	○	



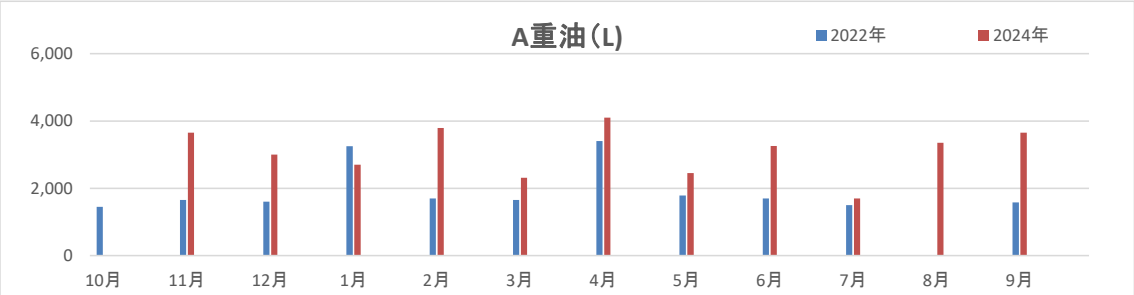
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	875	597	733	644	460	790	639	696	712	791	740	1,011	8,688
2024年	632	563	675	539	711	538	551	752	569	696	663	692	7,581

軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年々、収集車両が増えるなか取組みや目標値を達成して行かなければならない。自社の取組みのなかでCo2排出の大部分を占めるのがこのトラック燃料の削減であると考えるので、次年度もこの取組みを継続し、軽油使用量の削減に注力して取り組んで行きたい。
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	○	
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・回収ルートを効率よく見直す	○	



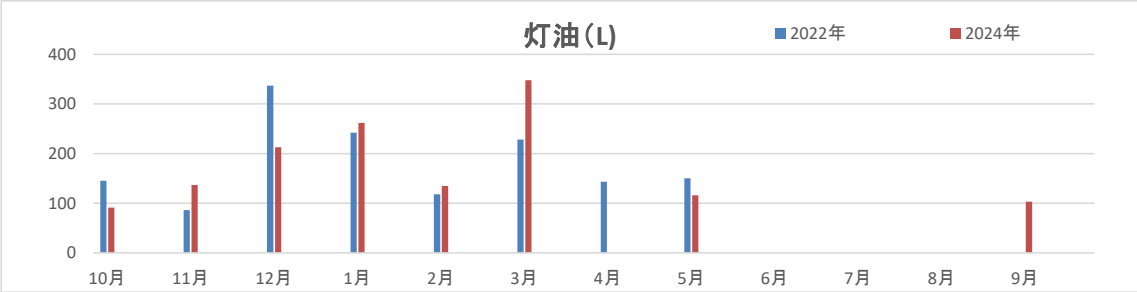
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	12,492	15,513	15,259	12,210	10,983	12,481	11,161	10,711	11,359	11,344	12,059	11,416	146,986
2024年	10,621	11,138	12,139	11,299	10,418	11,184	10,298	11,541	10,169	11,778	11,001	10,452	132,038

A重油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	工場の老朽に伴い、設備の不具合等により作業時間が伸びていることから、目標値を大幅に超え、CO2削減につながらなかった。次年度は、基準年度を変更し、ガスボイラに入れ替え予定ではあるが、その他の設備も入替えの検討する。
・ボイラーの適正な使用	○	
・ボイラーの温度管理	○	
・ボイラーの不要時使用の停止	○	



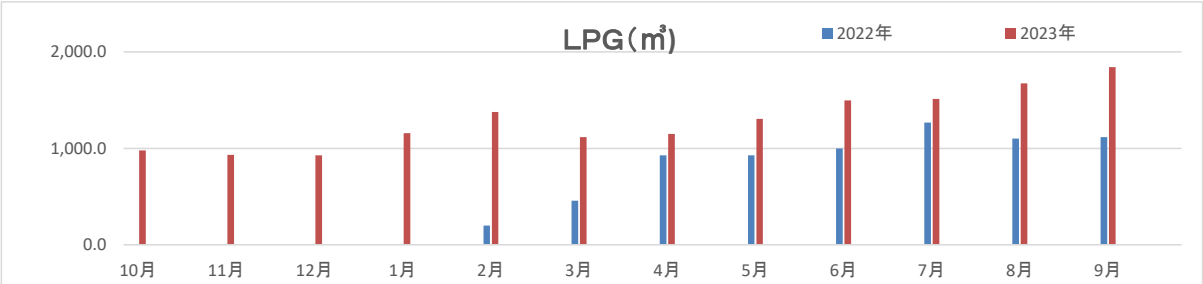
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	1,450	1,650	1,600	3,250	1,700	1,650	3,400	1,784	1,700	1,500	0	1,580	21,264
2024年	0	3,650	3,000	2,700	3,793	2,314	4,100	2,450	3,260	1,700	3,350	3,650	33,967

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ジェット洗浄機と灯油ストーブによる使用がほとんどのため、必要時しか使用しない。次年度も節約を心がけ使用する。
・ストーブの適正な使用	○	
・ストーブの温度管理	○	
・不在時の消火	○	



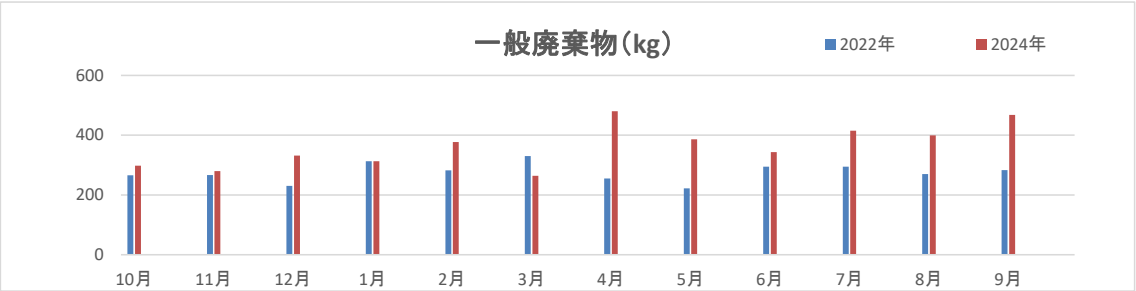
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	145	86	337	242	118	228	144	150	0	0	0	0	1,450
2024年	91	137	213	262	135	348	0	116	0	0	0	103	1,405

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	LPGガスの使用が本格的になりデータ収集中で、次年度は、基準年度を変更し、この実績で目標を変更する。また、本社事務所移転のため、事務所LPGは使用しなくなった。
・LPGの適正な使用	○	
・LPGの温度管理	○	
・不要時使用の停止	○	



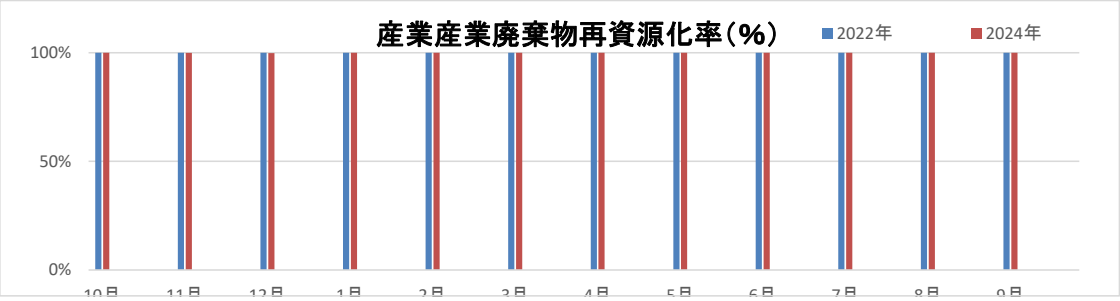
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	0.5	0.8	1.0	0.4	200	458	929	927	998	1,267	1,102	1,115	6,997
2023年	978	933	928	1,158	1,376	1,116	1,150	1,304	1,498	1,513	1,673	1,843	15,469

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本社工場と本社事務所移転により、相対的に一般廃棄物の量が増えた。次年度は、基準年度を変更し、事務所ではペーパーレスを推進し、工場では可燃ごみなどの廃棄物削減を推進する。
・使用済みコピー用紙を再利用する	○	
・無駄な資機材を購入、使用しない。	○	



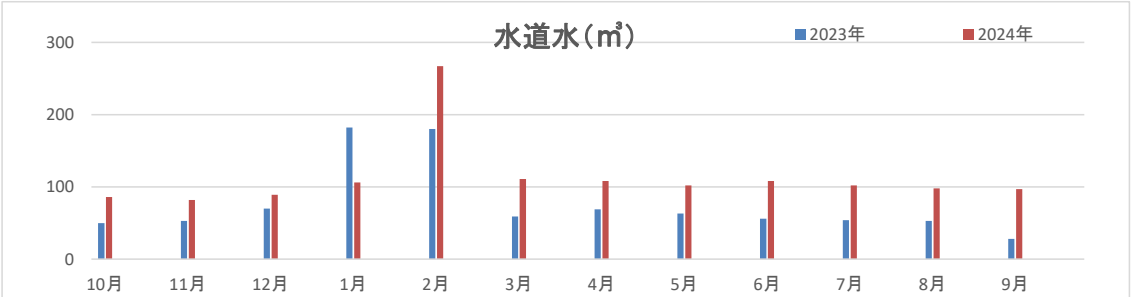
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	266	267	230	313	282	330	255	222	295	295	270	283	3,308
2024年	298	280	332	313	377	264	480	386	343	415	399	468	4,355

産業廃棄物の再資源化率	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	本社工場では廃棄油は発生せず、第2工場から発生する従来からの廃棄油は、その大部分を本社工場のクッカーで処理をして再資源化できた。次年度も再資源化に努める。
・廃棄物を分別しリユース・リサイクルを徹底す	○	



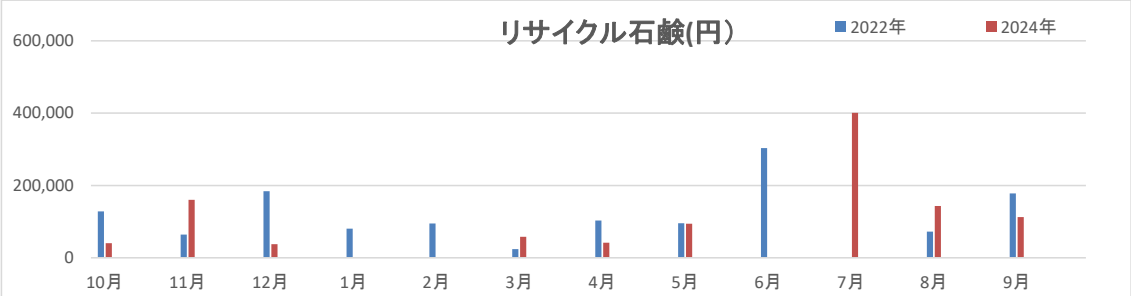
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2024年	100%	99.99%	99.85%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99.99%

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬季の融雪や第2工場井戸水の水量不足などの原因で水使用量が増えた。今のところ水に代わる融雪方法もなく、第2工場の井戸枯れが慢性的なものとなった。次年度は、基準年度を変更し節水に取組む
・洗車時水を出しっぱなしにしない	○	
・節水の表示を掲示	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2023年	50	53	70	182	180	59	69	63	56	54	53	28	917
2024年	86	82	89	106	267	111	108	102	108	102	98	97	1,356

リサイクル製品の積極的な販売	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・リサイクル製品の積極的な販売	○	リサイクル製品の販売について、製品ごとに重量が異なり集計が煩雑で分かりにくいため、単位を売上高に変更した。主な販売先が学校、公共施設のため年度替わりは販売数は少なく、期末に販売数が伸びることがわかった。次年度は、基準年度を変更し、平均して販売量を伸ばすよう営業活動をする。
・新規営業活動	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2022年	128,227	64,460	183,898	80,443	94,600	24,200	103,092	95,344	303,710	0	72,288	177,848	1,328,110
2024年	40,255	160,204	37,686	0	0	58,212	41,646	94,310	0	400,928	143,502	112,565	1,089,308

地域の美化活動に参加する	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・地域の美化活動に参加する(単位／回)	○	秋季、春季と自主的な清掃活動計画を立てて、本社近隣の清掃活動を実施。計画通り実施できた。8月には彦根市文化プラザでコネコネマイせっけんを使い、環境学習を実施した。次年度も地域美化活動に参加する。
・廃食油リサイクルについて学習会を行う	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の届出と適正管理	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
資源有効利用促進法	パソコン等リサイクル券	遵守
消防法（危険物）	対象危険物の保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機の点検と記録の保存	遵守
地域のゴミ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 油類流出事故の発生	
■実施日: 2024年5月23日 15:00～16:00	■実施場所:本社工場
■参加者: 18名	■実施内容: ・火災対応(消火、通報訓練)
■評価: 手順書を確認しながら、防火におけるポイントを説明した。訓練用消火器を用いて、的を目掛けて水を噴射して消火器の取扱い方を訓練実施して、全員問題なく使用することができた。また建物内すべての火災報知ベルの位置と消火器の位置を確認した。	□ あり ☑ なし 手順書の変更の必要
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

新社屋及び本社工場の稼働となり、事業拡大とともに工場のエネルギー消費量、廃棄物の排出量も増加し、目標値の設定を改めることとなった。本社工場では、食品廃棄物(有価物)から搾油して再生油を増産するための設備を備えた。旧工場(第2工場)よりも処理設備、工程も多いため、より一層の省エネルギー、環境経営活動が求められる。収集運搬車両における化石燃料使用量はエコドライブ、回収ルートの見直しにより年々取組み成果があらわれ、目標値を達成できているが、工場のリサイクル処理におけるエネルギー消費がこれからの課題となってくると思われる。ひとまずは工場の各エネルギー消費量、廃棄物排出量などの把握に努め、どのように削減していくか検討してゆく必要があると考える。あらたな廃食油の使用用途SAF(持続可能な航空機燃料)の登場により、集荷競争の激化や仕入コストの上昇が避けられないなかで、次年度は、基準年度を変更してエコアクション21の各取組みを進め、処理コストの削減や環境不可低減を目指し、環境経営を実現いたいと思う。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	□ 変更なし	☑ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり